

16年9月期	329,906	149,643	45.4	390.60
17年3月期	339,848	144,837	42.6	377.78

(注)期末発行済株式数(連結) 17年9月中間期 383,315,684株 16年9月中間期 383,109,491株 17年3月期 383,361,212株

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー 百万円	投資活動による キャッシュ・フロー 百万円	財務活動による キャッシュ・フロー 百万円	現金及び現金同等物 期末残高 百万円
17年9月期	3,871	11,284	1,566	13,702
16年9月期	6,434	9,988	13,544	20,746
17年3月期	16,731	16,772	11,977	22,646

(4)連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 22 社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 1 社

(5)連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 1 社 (除外) - 社 持分法(新規) - 社 (除外) - 社

2. 18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	！ %T 旗'旗
	176,097	385,000	150,750	115,950
	167,750	2.5	22.6	
	364,018			

中間(当期)純利益 1株当たり中間(当期)純利益 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益

1,630	4.25
3,119	8.14

平成18年3月期 中間決算短信(連結) 添付資料目次

1 .企業集団の状況	P . 3
2 .経営方針	P . 6
3 .経営成績および財政状態	P . 9
. 経営成績	
1. 当中間期の概況	P . 9
. フード&ヘルスケア事業	P . 9
. 薬品事業	P . 10
. ビル賃貸事業他	P . 11
2. 通期の見通し	P . 12
. 財政状態	
1. 当中間期の概況	P . 13
2. 通期の見通し	P . 14
3. キャッシュ・フロー指標のトレンド	P . 14
4 .中間連結財務諸表等	P . 15
(1) 中間連結貸借対照表	P . 15
(2) 中間連結損益計算書	P . 17
(3) 中間連結剰余金計算書	P . 18
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	P . 19
セグメント情報	P . 25
リース取引関係	P . 26
関連当事者との取引	P . 26
有価証券	P . 27
デリバティブ取引関係	P . 27
5 .生産、受注および販売の状況	P . 28

平成18年3月期 個別中間財務諸表の概要 添付資料目次

6 .個別中間財務諸表の概要	P . 29
7 .個別中間財務諸表等	P . 30
(1) 中間貸借対照表	P . 30
(2) 中間損益計算書	P . 32
8 .個別事業別売上高内訳	P . 36

1.企業集団の状況

当社企業集団の連結範囲は、連結財務諸表提出会社（以下当社）と、連結子会社22社、持分法適用関連会社1社より構成されており、主な事業内容は、菓子・食品、薬品等の製造販売であります。また、企業集団を構成している連結子会社22社の取引概要は下図のとおりであります。

（フード&ヘルスケア事業）

製品

製品・
サービス

製品

製品

関係会社の状況

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業 の内容	子会社等の議 決権に対する 所有割合		関係内容				
				直接 所有 (%)	間接 所有 (%)	役員の 兼務等 (名)	資金 援助	営業上 の取引	設備の 賃貸借	その他
(連結子会社) ㈱明治フードマ テリア	東京都中央区	300	砂糖、糖化穀 粉、機能性素材 の販売	94.87		兼任2 転籍6	なし	当社の主要原 料の砂糖類を 購入	建物の一部を 賃貸	なし
道南食品㈱	北海道函館市	40	菓子その他食 料品の製造・ 販売	100.00		兼任2 出向2	なし	当社の菓子、 原料の一部を 製造委託	工場用地及び 建物の一部を 賃貸	なし
蔵王食品㈱	山形県上山市	10	菓子その他食 料品の製造・ 販売	100.00		兼任2 出向2	なし	当社の菓子、 原料の一部を 製造委託	工場用地及び 建物の一部を 賃貸	なし
㈱ロンド	神奈川県横浜市 都筑区	50	菓子その他食 料品の製造・ 販売	100.00		兼任2 出向2	なし	当社の菓子、 原料の一部を 製造委託	工場用地及び 建物の一部を 賃貸	なし
明治産業㈱	長野県須坂市	50	菓子その他食 料品の製造・ 販売	85.00	15.00	兼任2 出向1 転籍1	なし	当社の菓子、 原料の一部を 製造委託	なし	なし
明治チューイン ガム㈱	愛知県清須市 西枇杷島町	75	菓子その他食 料品の製造・ 販売	51.00		兼任3 出向1	なし	当社の菓子、 原料の一部を 製造委託	なし	なし
㈱アステカ	東京都中央区	100	高級洋菓子の 販売	100.00		兼任3 出向2	なし	なし	建物の一部を 賃貸	なし
岡山県食品㈱	岡山県笠岡市	50	菓子その他食 料品の製造・ 販売	94.00	6.00	兼任1 出向3	なし	当社の菓子、 食品、原料の		

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業 の内容	子会社等の議 決権に対する 所有割合		関係内容				
				直接 所有 (%)	間接 所有 (%)	役員の 兼務等 (名)	資金 援助	営業上 の取引	設備の 賃貸借	その他
(連結子会社) Mabo Farma S.A.	スペイン国 マドリード市	千ユーロ 300	医薬品の販売		100.00	兼任 5	なし	なし	なし	なし
Meiji Seika Europe B.V.	オランダ国 アムステルダム市	千ユーロ 25	金融、投資の 業務	100.00		兼任 1	投資 資金	なし	なし	なし

(持分法適用
関連会社)

2. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社グループは、「夢と楽しさ、いのちの輝きを大切にし、世界の人々の心豊かなくらしに、貢献します」を企業理念に掲げ、「おいしさと健康」を創造するグローバル企業として、これからもお客様にとって価値のある商品・サービス・情報を提供してまいります。

そして、お客さまの喜びを大切にすることを第一に、社員一人ひとりの個性も尊重しながら、健全な収益体制のもとで活力ある発展を目指し、社会への責務を果たしてまいります。

(2) 利益配分に関する基本方針

当社グループは、長期的な観点より内部留保の充実を図り、事業の拡大と財務体質の強化に努めるとともに、株主の皆様へ適正かつ安定的に利益を還元することを基本方針としております。なお、当期の中間配当につきましては1株につき3.5円で実施いたします。

(3) 投資単位の引下げに関する考え方および方針等

当社は、投資単位の引下げが株式の流通の活性化および投資家層の拡大を図る上で有効な施策の一つと認識しており、今後、株式市場全体の動向や当社株式の株価・取引高の推移等を分析しながら、検討を進めてまいります。

(4) 中長期的な経営戦略と対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化の進展や、医療制度の諸改革による医薬品市場の成長鈍化など、依然として厳しい状況が続いており、フード&ヘルスケア・薬品事業を主力とする当社グループが更なる成長を実現するには、既存概念にとらわれない新たな事業展開への挑戦を続ける必要があると考えております。

当社グループでは、2005年度（平成18年3月期）を最終年度とする中期経営計画「チャレンジ2005」を策定し、「強くて、おもしろい会社」をキーワードに、「売上高4,000億円、経常利益160億円、当期純利益70億円」という過去最高水準の業績目標を実現するために、収益力の回復に努めてまいりました。この「チャレンジ2005」は、構造改革計画と事業発展計画の二つの計画で構成されており、構造改革としては退職給付債務の償却、早期転進支援制度の運用拡大、生産拠点の再編成などに取り組んでまいりました。こうした取組みについては既に一定の成果をあげていると判断しており、2005年度は「健康」「夏」「海外」を重点テーマとした「攻め」の事業発展計画に軸足を移し、「健康」を中核とした新しい企業スタイルの確立を目指してまいります。

「健康」に関しましては、まさに当社グループの理念でもある普遍的テーマであり、食薬兼業という当社グループの強みを最も活かせる分野であります。お客様の健康に対するニーズの高まりから、その関連市場は近年伸張が続いており、ここでの成功が当社グループの今後の成長のカギになると考えております。この市場での事業展開をさらに強化・スピードアップするために、本年7月には食料カンパニーとヘルスケアカンパニーを統合・再編し、「フード&ヘルスケアカンパニー」を新設いたしました。この組織改正によって、健康事業に関わる開発・生産機能の強化を進めると共に、お客様のニーズを開発・営業の諸施策にスピーディーに活かす仕組みの整備や、カテゴリーマネジメントの推進による中長期的な商品育成にも取り組んでおります。また、特定保健用食品の開発をさらに加速

するために医療用医薬品の臨床開発ノウハウを活用するなど、フード&ヘルスケアカンパニーと薬品カンパニーとの連携をさらに深め、食薬兼業のシナジーを具現化してまいります。

「夏」に関しましては、チョコレートや抗菌薬といった製品群を主力とする当社グループにとって、夏場の収益力が弱いという点が長年の課題となっておりました。とりわけ2004年度は猛暑の影響を大きく受けたことから、2005年度は夏場向けの商品ラインナップを強化し一定の成果をおさめました。今後も季節変動の影響を抑える取組みを進めてまいります。

「海外」に関しましては、特に中国市場に対する取組みを大幅に強化しております。フード&ヘルスケアカンパニーでは、以前よりヤンヤンやグミチョコなどを製造・販売してきた廣州明治制菓有限公司の設備を増強する他、中国各地でのテスト販売によりチョコレートを中心とした菓子ビジネスの将来性が高いと判断できることから、昨年設立した明治制菓（上海）有限公司を中心に、本格的な事業展開を図ってまいります。具体的には、中国各地に営業拠点を複数設ける他、上海地区には生産工場を新設する予定です。また、薬品カンパニーでは、医療用医薬品の製造拠点として新設した明治魯抗医薬有限公司による製造が本格化する他、汕頭明治医薬有限公司は経営体制の整備・強化を行い、自社医薬情報担当者による営業展開に挑戦しております。

これらの重点テーマ以外につきましても、フード&ヘルスケアカンパニーにおける業務用食材事業の強化、薬品カンパニーにおける営業力強化や研究開発のスピードアップ等にも引き続き取り組んでまいります。

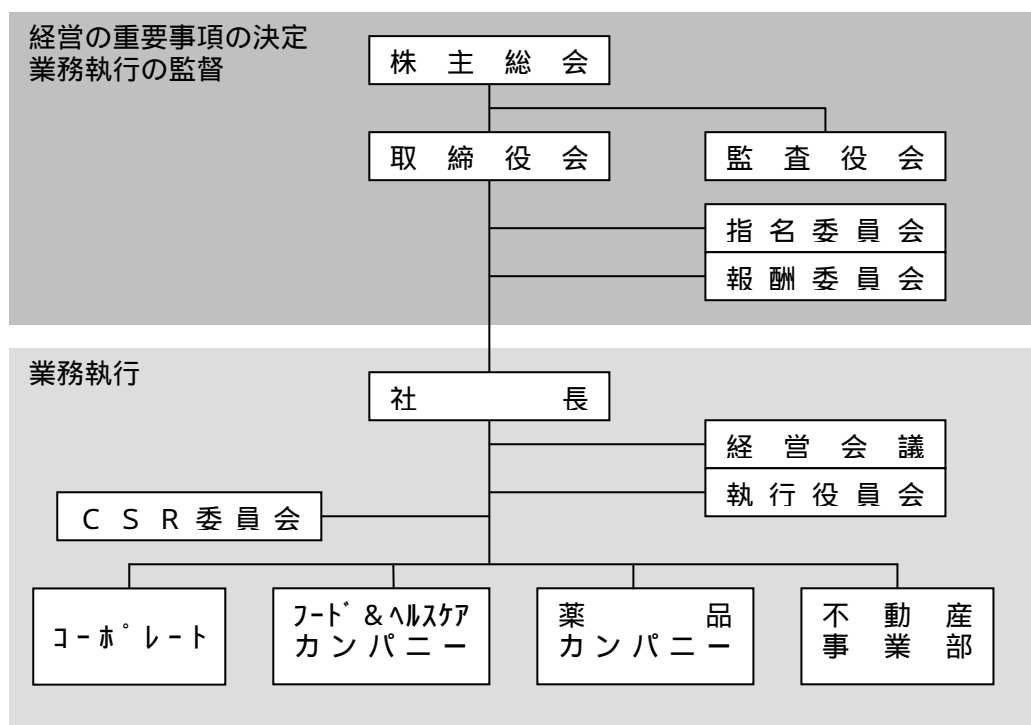
今後ともお客様のニーズを満たす商品・サービス・情報を提供するとともに、CSR（企業の社会的責任）の徹底により、公正で透明性のある経営を推進し、Meijiブランドと企業価値の向上に努めてまいります。

(5)コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方およびその施策の実施状況

当社では、スピーディーかつ質の高い意思決定と透明性の高い経営を実現すべく、コーポレート・ガバナンスの強化に努めております。

取締役会は取締役11名中2名を社外取締役とし、「経営の重要事項を決定する」「業務執行を監督する」という機能を担っております。また、経営の透明性と客観性を高める目的で、役員の候補者を取締役会に推薦する「指名委員会」と、取締役と執行役員との1年間の業績評価と報酬案について検討

その他の社外取締役および社外監査役に関しましては、当社との間には人的関係、資本的关系又は取引関係その他の利害関係はありません。



絞込みと経営資源の集中投入を行い、農薬・動物薬は、主力品目を中心に積極的な営業活動を展開して

2. 通期の見通し

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
当期予想 (増減率)	385,000 百万円 (5.8%)	17,000 百万円 (95.0%)	17,000 百万円 (99.9%)	8,500 百万円 (-%)	22.17 円 (-%)
前期実績	364,018 百万円	8,717 百万円	8,503 百万円	8,240 百万円	21.53 円

当社グループは、今年度を最終年度とする中期経営計画「チャレンジ 2005」の実現に向けて総力を結集し鋭意取組みを進めております。これまでの体質改善、構造改革の成果をもとに、従来にも増して事業発展計画を強力に推進し、「攻め」の経営に注力してまいります。

以上により、平成 18 年 3 月期の連結業績見通しは、売上高 3,850 億円(対前連結会計年度比 5.8%増)、営業利益 170 億円(対前連結会計年度比 95.0%増)、経常利益 170 億円(対前連結会計年度比 99.9%増)、当期純利益 85 億円(対前連結会計年度比 167 億 40 百万円増)を見込んでおります。

なお、セグメント別の内訳は、「フード&ヘルスケア事業」の売上高 2,660 億円(対前連結会計年度比 5.6%増)、営業利益は 105 億円(対前連結会計年度比 67.1%増)、「薬品事業」の売上高 1,160 億円(対前連結会計年度比 5.9%増)、営業利益は 63 億円(対前連結会計年度比 79.2%増)、「ビル賃貸事業他」の売上高 30 億円(対前連結会計年度比 14.2%増)、営業利益は 2 億円(対前連結会計年度比 108.3%増)を見込んでおります。(なお、「フード&ヘルスケア事業」の前年実績は、従来の「食料事業」と「ヘルスケア事業」との合計にて算出しております)

・財政状態

1. 当中間期の概況

(1) 当中間期の資産、負債、少数株主持分、資本の状況

	当中間連結会計期間末	前連結会計年度末	増 減
--	------------	----------	-----

2. 通期の見通し

通期のキャッシュ・フローの見通しにつきましては、期初の見通しに変更はありません。

3. キャッシュ・フロー指標のトレンド

	平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期	平成17年3月期	平成17年9月 中間期
株主資本比率(%)	46.3	47.9	46.8	42.6	44.5
時価ベースの株主資本比率(%)	52.7	43.2	55.8	60.2	67.8
債務償還年数(年)	4.3	7.2	10.0	4.9	10.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	9.4	6.6	5.0	13.5	5.9

(注)株主資本比率 : 株主資本 / 総資産

時価ベースの株主資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

債務償還年数 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

中間期末における債務償還年数 : 有利子負債 / (営業キャッシュ・フロー × 2)

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書に計上されているキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(1) 中間連結貸借対照表

期 別	当中間連結会計期間末 (H17.9.30現在)	前中間連結会計期間末 (H16.9.30現在)	(単位 : 百万円) 前連結会計年度 (H17.3.31現在)
-----	------------------------------	------------------------------	---

(単位：百万円)

期 別 科 目	当中間連結会計期間末 (H17.9.30現在)		前中間連結会計期間末 (H16.9.30現在)		前連結会計年度 (H17.3.31現在)	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
負債の部		%		%		%
流動負債						
支払手形及び買掛金	27,012		24,820		26,097	
短期借入金	16,729		23,895		17,223	
未払費用	11,752		10,879		11,931	
未払法人税等	1,067		910		3,514	
賞与引当金	4,893		5,008		4,838	
返品調整引当金	270		60		260	
売上割戻引当金	4,074		3,767		4,670	
設備支払手形	678		641		690	
その他	9,729		15,037		15,654	
流動負債合計	76,206	22.9	85,021	25.8	84,880	25.0
固定負債						
社債	40,000		40,000		40,000	
長期借入金	24,837		17,638		24,118	
長期繰延税金負債	11,420		11,331		6,238	
退職給付引当金	24,813		19,438		32,451	
役員退職慰労引当金	528		471		528	
その他	4,278		3,886		4,185	
固定負債合計	105,878	31.8	92,766	28.1	107,522	31.6
負債合計	182,085	54.7	177,787	53.9	192,403	56.6
少数株主持分						
少数株主持分	2,646	0.8	2,474	0.7	2,607	0.8
資本の部						
資本金	28,363	8.5	28,363	8.6	28,363	8.3
資本剰余金	34,947	10.5	34,937	10.6	34,946	10.3
利益剰余金	73,888	22.2	80,076	24.3	73,611	21.7
その他有価証券評価差額金	13,481	4.0	8,783	2.6	10,407	3.1
為替換算調整勘定	1,285	0.4	1,428	0.4	1,514	0.5
自己株式	1,003	0.3	1,088	0.3	977	0.3
資本合計	148,392	44.5	149,643	45.4	144,837	42.6
負債、少数株主持分及び資本合計	333,124	100.0	329,906	100.0	339,848	100.0

(2) 中間連結損益計算書

科 目	期 別	当中間連結会計期間		前中間連結会計期間		(単位 : 百万円)	
		H17/4 ~ H17/9		H16/4 ~ H16/9		前連結会計年度	
		金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
			%		%		%
		176,097	100.0	167,750	100.0	364,018	100.0
		99,171	56.3	96,568	57.6	206,231	56.7
		76,926	43.7	71,181	42.4	157,786	43.3
		10	0.0	-	-	200	0.0
		76,916	43.7	71,181	42.4	157,586	43.3
		49,180		45,261		100,804	
		23,151		24,083		47,920	
		150		67		144	
		72,483	41.2	69,411	41.3	148,869	40.9
		4,433	2.5	1,769	1.1	8,717	2.4
		20		18		40	
		370		336		418	
		632		791		1,800	
		45		48		108	
		1,069	0.6	1,195	0.7	2,367	0.6
		642		589		1,227	
		559		383		1,354	
		1,201	0.7	973	0.6	2,581	0.7
		4,300	2.4	1,992	1.2	8,503	2.3
		251		186		2,558	
		-		182		182	
		60		27		205	
		311	0.2	396	0.2	2,946	0.8
		499		373		950	
		-		5,565		7,337	
		-		-		13,295	
		133		459		2,197	
		632	0.3	6,397	3.8	23,779	6.5
		3,979	2.3	-	-	-	-
		-	-	4,008	2.4	12,330	3.4
法人税、住民税及び事業税		900	0.5	730	0.4	3,728	1.0
過年度法人税等戻入額		103	0.1	505	0.3	-	-
法人税等調整額		1,290	0.8	1,290	0.7	8,283	2.2
少数株主1, 2, 9		0 261	0.2	6 4 176	0.1	464	入0.1
中間純利益		1,630	0.9	-	-	-	-
中間(当期)純損失		-	-	3,119	1.9	8,240	2.3

(3) 中間連結剰余金計算書

(単位 : 百万円)

科 目	当中間連結会計期間		前中間連結会計期間		前連結会計年度	
	H17/4 ~ H17/9		H16/4 ~ H16/9		H16/4 ~ H17/3	
	金 額		金 額		金 額	
(資本剰余金の部)						
資本剰余金期首残高		34,946		34,935		34,935
資本剰余金増加高						
自己株式処分差益	0	0	2	2	11	11
資本剰余金中間期末(期末) 残高		34,947		34,937		34,946
(利益剰余金の部)						
利益剰余金期首残高		73,611		84,575		84,575
利益剰余金増加高						
中間純利益	1,630	1,630	-	-	-	-
利益剰余金減少高						
中間(当期) 純損失	-		3,119		8,240	
配当金	1,341		1,340		2,681	
役員賞与金	11		39		42	
(うち監査役分)	(-)	1,353	(-)	4,499	(-)	10,964
利益剰余金中間期末(期末) 残高		73,888		80,076		73,611

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当中間連結会計期間 前中間連結会計期間		
		金 額	金 額	前連結会計年度 金 額
. 営業活動によるキャッシュ・フロー		3,979	4,008	12,330

中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社 22社

会社名 (株)明治フードマテリア、道南食品(株)、蔵王食品(株)、(株)ロンド、
明治産業(株)、明治チューインガム(株)、岡山県食品(株)、四国明治(株)、
太洋食品(株)、富士アミドケミカル(株)、(株)明治スポーツプラザ、
明治アクアスポーツ(株)、北里薬品産業(株)、(株)アステカ、
D.F.Stauffer Biscuit Co.,Inc.、Meiji Seika(Singapore) Pte.Ltd.、
Tedec-Meiji Farma S.A.、Meiji Seika Europe B.V.、
P.T.Meiji Indonesian Pharmaceutical Industries、
Laguna Cookie Co.,Inc.、Thai Meiji Pharmaceutical Co.,Ltd.、
Mabo Farma S.A.

(新規)新規株式取得により連結の範囲に含めた1社

明治アクアスポーツ(株)

非連結子会社 15社

については、要件を満たしている場合には特例処理によっております

ヘッジ手段とヘッジ対象

<u>ヘッジ手段</u>	<u>ヘッジ対象</u>
為替予約取引等	外貨建債権債務及び外貨建予定取引
金利スワップ取引	借入金

ヘッジ方針

当社及び一部の連結子会社では、通常の営業過程における輸出入取引に係る為替変動リスクを軽減するため、為替予約取引等を行っており、調達資金の金利変動リスクを軽減するため、金利スワップ取引を行っております。なお、投機目的のためのデリバティブ取引は行っておりません。

ヘッジの有効性評価の方法

為替予約等を外貨建債権債務取引に付すことで、将来の円貨でのキャッシュ・フローを固定していることから、振当処理を実施しており、事後テストの要件は満たしております。また、事前テストとして、為替予約等の契約締結時に親会社及び連結子会社のリスク管理方針に従っていることを確認しております。なお、特例処理によっている金利スワップについては、ヘッジの有効性評価を省略しております。

(7) その他中間連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の処理方法

消費税等の計上方法は税抜方式を採用しております。

5. 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない短期的な投資からなっております。

(会計方針の変更)

当中間連結会計期間より固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日)を適用しております。

これによる当中間連結会計期間の損益に与える影響はありません。

注記事項

[中間連結貸借対照表関係]

	当中間期	前年中間期	前 期
1. 担保資産及び担保付債務			
担保に供している資産は次のとおりであります。			
建 物	26,918 百万円	28,529 百万円	27,754 百万円
土 地	693 百万円	703 百万円	693 百万円
投資有価証券	1,444 百万円	828 百万円	1,014 百万円
担保付債務は次のとおりであります。			
長期借入金	6,027 百万円	6,763 百万円	6,393 百万円
(一年以内返済予定長期借入金含む)			
2. 保証債務			
連結会社以外の会社及び従業員の金融機関からの借入に対して、次の通り保証を行っております。			
明 菓 興 産 (株)	800 百万円	900 百万円	900 百万円
従 業 員 外	1,276 百万円	2,050 百万円	1,339 百万円
計	2,076 百万円	2,950 百万円	2,239 百万円
3. 受取手形割引高	66 百万円	34 百万円	30 百万円

[中間連結損益計算書関係]

	当中間期	前年中間期	前 期
1. 販売費及び一般管理費の主要な費目は次のとおりであります。			
販売促進費	23,458 百万円	19,629 百万円	47,068 百万円
給料賃金	10,811 百万円	9,920 百万円	19,743 百万円
研究開発費	7,776 百万円	8,283 百万円	16,852 百万円
賞与引当金繰入額	2,393 百万円	2,441 百万円	2,369 百万円
役員退職慰労	93 百万円	61 百万円	20,746 百万円
引当金繰入額			111 百万円
2. 固定資産売却益のうち主なものは次の通りであります。			
土地売却益	244 百万円	184 百万円	2,550 百万円
3. 固定資産廃棄損の内訳は、以下の通りであります。			
建物及び構築物	222 百万円	121 百万円	222 百万円
機械装置	241 百万円	238 百万円	534 百万円
その他	35 百万円	13 百万円	193 百万円
計	499 百万円	373 百万円	950 百万円

[中間連結キャッシュ・フロー計算書関係]

現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高と中間連結貸借対照表（連結貸借対照表）に掲記されている科目の金額との関係

	当中間期	前年中間期	前期
現金及び預金勘定	13,898 百万円	21,290 百万円	23,357 百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	196 百万円	544 百万円	710 百万円
計	13,702 百万円	20,746 百万円	22,646 百万円

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当中間連結会計期間（自平成17年4月1日 至平成17年9月30日）（単位：百万円）

セグメント F & H 薬品 ビル賃貸 計 消去又は連結
 科目 事業 事業 事業 他 全社

1. 売上高及び営業損益

売上高

(1) 外部顧客に対する売上高 122,686 52,133 1,277 176,097 - 176,097

(2) セグメント間の内部売上高

又は振替高 237 838 56 1,132 (1,132) -

計 122,924 52,972 1,333 177,230 (1,132) 176,097

営業費用 120,011 51,558 1,268 172,838 (1,173) 171,664

営業利益 2,913 1,413 65 4,392 40 4,433

前中間連結会計期間（自平成16年4月1日 至平成16年9月30日）（単位：百万円）

セグメント 食料薬品ヘルスケアビル賃貸 計 消去又は連結
 科目 事業 事業 事業 事業 他 全社

1. 売上高及び営業損益

売上高

(1) 外部顧客に対する売上高 107,354 49,155 9,857 1,382 167,750 - 167,750

(2) セグメント間の内部売上高

又は振替高 1,841 3,555 658 57 6,112 (6,112) -

計 109,196 52,711 10,515 1,439 173,862 (6,112) 167,750

営業費用 107,686 52,018 10,470 1,363 171,539 (5,558) 165,980

営業利益 1,509 692 44 76 2,322 (553) 1,769

前連結会計年度（自平成16年4月1日 至平成17年3月31日）（単位：百万円）

セグメント 食料薬品ヘルスケアビル賃貸 計 消去又は連結
 科目 事業 事業 事業 事業 他 全社

1. 売上高及び営業損益

売上高

(1) 外部顧客に対する売上高 232,755 109,530 19,104 2,627 364,018 - 364,018

(2) セグメント間の内部売上高

又は振替高 4,026 7,511 711 114 12,363 (12,363) -

計 236,781 117,042 19,816 2,741 376,381 (12,363) 364,018

営業費用 230,381 113,525 19,933 2,644 366,485 (11,184) 355,300

営業利益又は営業損失() 6,399 3,516 117 96 9,896 (1,178) 8,717

(注) 1. 事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分に属する主要な製品

F & H事業・菓子、食品、砂糖及び糖化穀粉等、健康食品、薬局・薬店向け医薬品等、スポーツクラブの経営等
 薬品事業・医薬品及び農畜薬等

ビル賃貸事業他・オフィスビルを中心とするビル賃貸事業等

3. 当中間連結会計期間において、営業費用のうち「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は40百万円であり、その主なものは全社共通費の各セグメントへの配賦差額であります。

事業区分の方法の変更

従来、「食料事業」「薬品事業」「ヘルスケア事業」「ビル賃貸事業 他」の4事業に区分しておりましたが、平成17年7月1日付の食料カンパニーとヘルスケアカンパニーの再編・統合によるフード&ヘルスケアカンパニーの発足に伴い、併伴い、併伴い 氏yコい 氏yコい 驚セ)Zィ驪H,ル 8 h,ネリ mィ,争ネ- ルGウXウW9Eネ シiN

40百万円であり、その主なものは全社共通費の各セグメントへの配賦差額と8x栄sh,切i Zィ+X,H* ネ+X+リ* 17年7月1日付の食料カンパニーとヘル リめた配 5i4ヨ6ィ #Hシih"「、併伴い、ih 5 拷H岑*()(拷K

事業区分の方法の変更

前中間連結会計期間（自平成16年4月1日 至平成16年9月30日）							（単位：百万円）	
科 目	セグメント	F & H	薬品	ビル賃貸	計	消去又は	連結	
	事業	事業	事業	事業	他	全社		
1. 売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	117,212	49,155	1,382	167,750	-	167,750		
(2) セグメント間の内部売上高								
又は振替高	173	1,860	57	2,091	(2,091)	-		
計	117,385	51,016	1,439	169,840	(2,091)	167,750		
営業費用	115,831	50,323	1,363	167,517	(1,537)	165,980		
営業利益	1,554	692	76	2,322	(553)	1,769		

前連結会計年度（自平成16年4月1日 至平成17年3月31日）							（単位：百万円）	
科 目	セグメント	F & H	薬品	ビル賃貸	計	消去又は	連結	
	事業	事業	事業	事業	他	全社		
1. 売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	251,860	109,530	2,627	364,018	-	364,018		
(2) セグメント間の内部売上高								
又は振替高	386	3,883	114	4,383	(4,383)	-		
計	252,246	113,414	2,741	368,402	(4,383)	364,018		
営業費用	245,964	109,897	2,644	358,505	(3,204)	355,300		
営業利益	6,282	3,516	96	9,896	(1,178)	8,717		

2. 所在地別セグメント情報

当中間連結会計期間、前中間連結会計期間、及び前連結会計年度における全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が、いずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

3. 海外売上高

当中間連結会計期間、前中間連結会計期間、及び前連結会計年度における海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(v・リ 、 [ス.dhXS愛> ヲ ク5 v・リ 、 [ス.dhXS愛> ヲ ク5

有 価 証 券

5.生産、受注および販売の状況

1.生産実績

当中間連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりです。

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (H17.4.1～H17.9.30)	前中間連結会計期間 (H16.4.1～H16.9.30)	増減額	前年同期比 (%)
フード&ヘルスケア事業	80,434	72,473	7,960	11.0
薬品事業	36,223	41,908	5,684	13.6
ビル賃貸事業他	-	-	-	-
合計	116,657	114,381	2,275	2.0

(注) 1.金額は売価換算額で表示しております。

2.上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2.受注実績

当社企業集団は、主に販売計画に基づいて生産計画を立てて生産しております。

一部受注生産を行っておりますが、受注高及び受注残高の金額に重要性はありません。

3.販売実績

当中間連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりです。

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (H17.4.1～H17.9.30)	前中間連結会計期間 (H16.4.1～H16.9.30)	増減額	前年同期比 (%)
フード&ヘルスケア事業	122,686	117,212	5,474	4.7%
薬品事業	52,133	49,155	2,978	6.1%
ビル賃貸事業他	1,277	1,382	105	7.6%
合計	176,097	167,750	8,347	5.0%

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(1) 中間貸借対照表

(単位 : 百万円)

期 別

当中間期
(H17.9.30現在)

前年中間期
(H16.9.30現在)

前期
(H17.3.31現在)

科 目	期 別	(単位：百万円)		
		当中間期 (H17.9.30現在)	前年中間期 (H16.9.30現在)	前期 (H17.3.31現在)

(2) 中間損益計算書

(単位 : 百万円)

給することが決議されたことに伴い、新規の引当計上を行っておりません。

注記事項

[中間貸借対照表関係]

1. 有形固定資産の減価償却累計額	百万円	百万円	百万円
2. 担保資産及び担保付債務			
担保に供している資産は次のとおりであります。			
有形固定資産	百万円	百万円	百万円
投資有価証券	1,444 百万円	828 百万円	1,014 百万円
担保付債務は次のとおりであります。			
長期借入金	5,741 百万円	6,371 百万円	6,056 百万円
(一年以内返済予定長期借入金含む)			
3. 偶発債務			
関係会社外の金融機関借入金につきましては、下記の支払保証を行っております。	百万円	百万円	百万円
4. 手形(輸出手形)割引高	66 百万円	34 百万円	30 百万円

[中間損益計算書関係]

1. 特別利益の主要な項目			
投資有価証券売却益	4 百万円	182 百万円	182 百万円
固定資産売却益	244 百万円	183 百万円	1,889 百万円
2. 特別損失の主要な項目			
事業構造改善費用	- 百万円	5,443 百万円	7,137 百万円
固定資産廃棄損	475 百万円	346 百万円	836 百万円
3. 減価償却実施額			
有形固定資産	5,903 百万円	5,881 百万円	百万円
無形固定資産	177 百万円	120 百万円	269 百万円
合計	6,081 百万円	6,001 百万円	百万円

[リース取引関係]

表 (A Kス=D特ノ]ク

8 . 個別事業別売上高内訳

(単位 : 百万円)

	当中間期		前中間期		増 減		前期	
	H17/4 ~ H17/9		H16/4 ~ H16/9				H16/4 ~ H17/3	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年比	金額	構成比
フット & ヘルスケア事業	83,420	63.6%	74,295	61.6%	9,125	12.3%	169,805	62.5%
菓子	58,541	44.6%	54,761	45.4%	3,780	6.9%	122,282	45.0%
健康	15,187	11.6%	14,190	11.8%	997	7.0%	31,067	11.4%
業務用食材	7,198	5.5%	2,794	2.3%	4,404	157.6%	10,684	3.9%
海外	2,492	1.9%	2,549	2.1%	57	2.2%	5,770	2.1%
薬品事業	46,509	35.4%	43,711	36.2%	2,798	6.4%	97,781	36.0%
医療用医薬品	38,574	29.4%	35,881	29.7%	2,693	7.5%	77,968	28.7%
生物産業事業	7,934	6.0%	7,829	6.5%	105	1.3%	19,813	7.3%
ビル賃貸事業他	1,333	1.0%	2,701	2.2%	1,368	50.6%	3,959	1.5%
合 計	131,263	100.0%	120,708	100.0%	10,555	8.7%	271,546	100.0%